

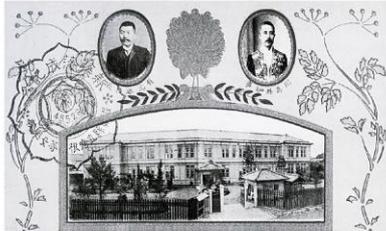
「淡海女学校」から「滋賀県立彦根高等女学校」まで

沿革の前半は、明治19年の武節貫治先生らによる「淡海女学校」の創立から「滋賀県立彦根高等女学校」までを振り返ります。

明治19(1886)年	私立淡海女学校の前身開校 (武節貫治)
明治20年5月13日	私立淡海女学校開校
明治22(1889)年	「大日本帝国憲法」の発布。 彦根町に移管され町立彦根女学校と改称
明治24年4月1日	彦根町に移管され町立彦根女学校と改称
明治27(1894)年	「日清戦争」 彦根町立高等女学校と改称 県移管により滋賀県立彦根高等女学校と改称
明治28年7月1日	彦根町立彦根高等女学校と改称
明治35年4月1日	県移管により滋賀県立彦根高等女学校と改称
明治37(1904)年	「日露戦争」 滋賀県立彦根高等女学校と改称
明治41年3月21日	滋賀県立彦根高等女学校と改称
明治43年7月11日	現・彦根市池州町に校舎新築移転
明治45(1912)年	7月30日「大正」改元
大正3(1914)年	「第一次世界大戦」 創立30周年記念式挙行
大正5年11月1日	創立30周年記念式挙行
大正15(1926)年	12月25日「昭和」改元
昭和5年2月17日	火事により校舎焼失
昭和6(1931)年	「満州事変」 前年焼失した校舎新築落成移転
昭和6年10月1日	創立50周年祝賀式挙行
昭和11年11月1日	「日中戦争」
昭和12(1937)年	「第二次世界大戦」
昭和14(1939)年	「太平洋戦争」
昭和16(1941)年	8月15日「終戦」
昭和20(1945)年	学制改革により滋賀県立彦根高等女学校を廃し滋賀県立彦根西高等学校設置
昭和23年4月1日	県下高等学校編成がえにより滋賀県立彦根高等女学校西校舎と改称設置
昭和24年4月1日	県下高等学校編成がえにより滋賀県立彦根高等女学校西校舎と改称設置
昭和27年4月1日	県下高等学校編成により滋賀県立彦根西高等学校設置(商業課程・家庭課程)

淡海女学校・彦根高等女学校・彦根西高等学校  
沿革大要

県立彦根高等女学校



彦根町立高等女学校



私立淡海女学校



学び舎の変遷

**県立彦根高等女学校**  
本校は、創立17年目の1902年(明治35年)、県立に移管、滋賀県立彦根高等女学校と改称、更に1908年(明治41年)、「滋賀県立彦根高等女学校」と改称し、以後、戦後の学制改革までこの校名が使われることとなる。修業年限は本科4年、技芸専修科3年・補習科1年。の

**町立彦根高等女学校**  
「淡海女学校」は「町立彦根女学校」と改称、廃校の危機を脱した。修業年限4年の普通科・それに続く2年の高等科、実技を重視する6年制の裁縫科が設置された。明治24年は彦根尋常高等小学校と合併授業であったが、翌年、高等科の生徒を全て女学校に吸収した。

**私立淡海女学校**  
この女学校が後の「滋賀県立彦根高等女学校」、「滋賀県立彦根西高等学校」の母胎となった学校である。本校創立者として伝えられているのは、武節貫治、中島宗達、木野佐助、広野織蔵、西川庄五郎、小堀留次郎、千田保次、瀬古宗哉、岡島淡、小川九平、田中徳が卒業した。

**「淡海女学校」の創立**  
1886年(明治19年)、三、樋口平兵衛、竹村吉右衛門、弘世助三郎である。彦根に滋賀県下初めての女学校が創立された。場所は、西内大工町(現・本町一丁目)、女学校創立を提唱、同志を集め、経営困難な開校期に私財をなげうちその維持に努めたのは武節貫治である。しかし、1890年(明治23年)12月、武節貫治が東京に移住することとなり、学校は創立5年目で存亡の危機に直面した。千田保次ら創立者は対策を練ったが、県立移管は3回とも県会で否決されており、町立移管しかなかった。町議会は彼らの嘆願に理解を示した。1891年(明治24年)3月、「淡海女学校」最後の卒業式があり、3名が卒業した。

**県立彦根高等女学校**  
1911年(明治44年)、ち1911年(明治44年)、技芸専修科を修業年限4年の実科に改めた。一方、1910年(明治43年)7月11日、13日、池州町への校舎新築移転が行われ、以後、校地は2016年(平成28年)4月まで、校舎は1930年(昭和5年)の焼失まで使用されることとなる。

## 戦後の学制改革から「滋賀県立彦根西高等学校」まで

沿革の後半は、戦後の「学制改革」、「滋賀県立彦根西高等学校」の設立から「滋賀県立彦根西高等学校130周年」までを振り返ります。

昭和38年4月1日	昭和38年滋賀県教育委員会規則第2号により商業科および家政科を設置
昭和44年6月16日	体育館開き
昭和49年4月1日	昭和49年滋賀県教育委員会規則第3号により普通科を設置(商業科の募集停止)
昭和54年5月9日	校舎改築工事起工式
昭和55年2月28日	第1期工事(第2棟)完成。
昭和55年7月5日	H.R棟・鉄筋コンクリート4階建て第2期工事(第1棟)完成。
昭和55年8月6日	管理棟・鉄筋コンクリート3階建て旧校舎解体
昭和55年11月25日	グラウンド整備着工
昭和56年3月31日	クラブボックス、倉庫1棟、グラウンド完成
昭和57年9月14日	校舎改築竣工式挙行政
昭和59年7月17日	格技場完成
昭和61年10月5日	創立100周年記念式典挙行政、同窓会館完成
昭和64(1989)年	1月7日「平成」改元
平成3年4月1日	県下高等学校職業学科再編成により家政科を家庭科学科に名称変更
平成6年4月1日	新制服制定
平成9年4月1日	普通科募集定員 1学級減
平成10年4月1日	(普通科4学級・家庭科学科2学級)
平成16年4月1日	普通科募集定員 1学級増
平成16年4月1日	(普通科5学級・家庭科学科2学級)
平成16年4月1日	普通科募集定員 1学級減
平成17年4月1日	(普通科4学級・家庭科学科2学級)
平成17年4月1日	普通科募集定員 1学級減
平成17年7月1日	(普通科3学級・家庭科学科2学級)
平成18年9月6日	新クラブハウス竣工
平成19年9月25日	創立120周年記念式典挙行政
平成21年4月1日	体育館床改修
平成27年4月1日	普通科募集定員 1学級減
平成27年4月1日	(普通科2学級・家庭科学科2学級)
平成28年4月1日	普通科および家庭科学科の募集を停止
平成28年4月1日	現在地(彦根市芹川町)に校舎移転

### 彦根西高から彦根翔西館へ | 彦根西高等学校 | 彦根高女から西高へ



#### 火災・再建、50周年、戦中から戦後へ

池州町の校舎は、寄宿舎も完備していた。大正時代には「修学旅行」が始まり、1920年(大正9年)に実科を廃止、本科のみとなった。1923年には「至誠・自律・敬愛」の校訓が、1929年には校旗・校章が制定され、運動場拡張と共に課外活動も活発化した。1928年には本科を5年制へ延長した。

1930年(昭和5年)2月に校舎全焼という不幸があったものの、1936年に「創立50周年」を迎え、彦女は戦前の全盛期を迎えた。しかし1937年から日中戦争、1939年から第二次世界大戦、1941年から太平洋戦争と戦時体制が強まり、勤労動員に明け暮れる日々となる。

#### 新制彦根西高・商業・家政科から普通・家政科へ

1945年(昭和20年)、敗戦。1948年の学制改革で滋賀県立彦根西高等学校が発足。翌年、彦根高等学校西校舎、1952年に再び滋賀県立彦根西高等学校と改称、商業・家庭の課程を設置した。1952年に校章、1953年に校旗、1956年に校歌が制定された。1960年代から女子が圧倒的比率を占めたが、1974年、普通科設置。商業科は彦根南高校に引き継がれた(彦根翔陽高校の前身)。

#### 校舎改築、100周年

1979年(昭和53年)、昭和6年から使用され老朽化のため改築が要望されていた木造校舎の改築が決定。翌年5月に起工式、昭和55年7月に完成を見、移転作業の後、旧校舎は解体された。

翌年の運動場の整備の完成を受けて昭和57年に校舎改築竣工式が行われた。2年後には講堂が解体され格技場が竣工。昭和61年には、創立百周年記念式典「とともに」芹川会館が竣工した。

#### 平成の西高、統合・移転、翔西館へ

1991年(平成3年)、家政科が家庭科学科に名称変更、平成6年には新制服を制定するなど転機が訪れた。平成16年以降、普通科の募集定員は順次削減され、平成24年の県立高校再編計画により彦根翔陽高校との統合が決定。2015年(平成27年)4月に最後の入学生を迎え、翌平成28年4月に芹川町に移転。本校の伝統は新校の彦根翔西館高校に引き継がれることとなった。